

令和3年第1回長万部町総合教育会議（議事録）

- 1 開催日時 令和3年10月20日（水）
開会：午後2時30分 閉会：午後3時6分
- 2 開催場所 長万部町役場2階庁議室
- 3 議題 《協議・調整事項》
(1) 長万部町総合教育大綱の策定について
(2) その他
- 4 出席委員 町 長 木 幡 正 志 教 育 長 近 藤 英 隆
教育委員 北 山 陽 子 教育委員 小 野 雄 二
教育委員 大 山 喜美子 教育委員 三 田 智 康
- 5 欠席委員 なし
- 6 会議に出席した事務局職員等
事 務 局 佐 藤 久（総務課長）
事 務 局 伊 藤 篤（総務課総務係長）
説 明 員 對 馬 政 宏（教育委員会事務局学校教育課長）
説 明 員 神 野 隆 之（教育委員会事務局社会教育課長）
説 明 員 逢 見 祐 二（教育委員会学校給食センター長）
説 明 員 小 林 隆 弘（教育委員会事務局学校教育係長）
説 明 員 濱 田 偉 大（教育委員会事務局社会教育係長）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 議事の経過 別紙のとおり

開会

●事務局（総務課長）

皆さんこんにちは、定刻の時間となりましたので、ただ今から令和 3 年第 1 回長万部町総合教育会議を開会いたします。

本日の会議の司会を務めさせていただきます総務課の佐藤です。よろしくお願いいたします。失礼ながら着席して続けさせていただきます。

はじめに、確認事項が一点ありまして、傍聴者について、ホームページで周知いたしましたが、今回は希望者がおりませんでした。総合教育会議は、原則公開ということになっております。今後、傍聴者がいることもあるかと思っておりますので、ご承知をお願いします。

それでは次第に沿って進めさせていただきます。

はじめに、町長から開会にあたってのご挨拶をお願いいたします。

●木幡町長

今日は、定例の教育委員会の会議に引き続いての会議になりますけれども、本日は大変ご多忙の中、長万部町総合教育会議にご出席を頂きありがとうございます。

教育委員の皆様には、日頃より本町教育の充実、発展、さらには子どもたちの健全育成のためにご尽力を賜りまして誠にありがとうございます。

平成 27 年の 10 月に法改正後初めての総合教育会議を開催して以降、早いもので今回で 7 回目の開催となります。

本会議におきましては、これまで教育大綱の策定や子どもいじめ防止条例の制定、学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）の導入、いきいき大学行事の小学校開催など、「個性的で豊かな人と文化を育むまちづくり」の実現に向け、種々協議を重ねてきたところでございます。

本町の教育環境や生涯学習について、少子高齢化に対応しながらどのように維持・発展させていくかなど、教育行政が抱える多くの課題を、首長と教育委員会が相互にその方向性を共有し、子ども達の教育にとって何が必要か、そして何を進めていけば良いのかというスタンスで、皆さま方と意見交換ができる、そういった会議にしていきたいと考えておりますので、本日はよろしくお願いいたします。

●事務局（総務課長）

ありがとうございました。

それでは議題に入る前に、「長万部町総合教育会議運営要綱」により、本会議の議長は町長が務め

ることになっておりますので、これからの進行をよろしくお願いいたします。

●木幡町長

それでは、次第に沿って進行させていただきます。次第の 3、議題に入ります。協議・調整事項として、(1)長万部町教育大綱の策定についてでございます。

それでは、さっそく協議・調整事項の(1)長万部町教育大綱の策定について、総務係長から説明いたします。

協議・調整事項

(1)長万部町教育大綱の策定について

●説明員（総務係長）

総務係長の伊藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。失礼ながら着席して説明させていただきます。

長万部町教育大綱の策定について、ご説明させていただきます。

それでは、資料 1 長万部町教育大綱（案）をご覧ください。

まずはじめに、長万部町においても平成 27 年 10 月に総合教育会議において協議させて頂き、長万部町教育大綱を策定し、町の目指すべき教育目標の実現に向けて取り組んでまいりましたが、現行の大綱の期間について令和 2 年度に満了したことから、町の最上位計画である、令和 3 年 3 月に策定した第 4 次長万部町まちづくり総合計画との整合性を図り、町の教育における目標や施策の根本となる方針を定めるため、新たに大綱を策定するものであります。

1 大綱策定の趣旨でございますが、平成 27 年 4 月に施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正に伴い、地方公共団体の長は教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるものとされており、長万部町における教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めることを、趣旨としております。

次に、2 大綱の位置付けでございますが、法に規定する基本的な方針を参酌しつつ、長万部町教育目標の実現を図るため、令和 3 年 3 月に策定した第 4 次長万部町まちづくり総合計画の学び、スポーツ・文化に関する施策を踏まえて策定するものとし、関連のある長万部町教育目標についても記載しております。

次に 3 大綱の期間であります。第 4 次長万部町まちづくり総合計画が令和 3 年 3 月に策定されており、この計画の期間は令和 3 年度から令和 12

年度までの10年間となっておりますが、文部科学省で想定しております対象期間を踏まえまして、令和3年度から令和7年度までの5年間とし、教育を取り巻く状況の変化や施策の進展状況などを踏まえ、必要に応じて見直しを行うこととしております。

2ページをご覧ください。4基本目標ですが、「地域の未来を創造する人づくり文化づくり」ということで、こちらについては、まちづくり総合計画から抜粋したものを記載しております。

次に、5基本方針につきましても、(1)生涯学習の推進、(2)家庭・学校教育の充実、(3)地域文化の育成、この3つの項目につきましても、まちづくり総合計画から抜粋したものを記載しております。

最後に4ページをご覧ください。6関係法令条文（抜粋）として、大綱に関する二つの法律の条文を載せております。

以上で大綱（案）の説明となります。よろしくご審議のほどお願いいたします。

●木幡町長

ただ今1から6までの説明がありましたが、長万部町教育大綱（案）については、第4次長万部町まちづくり総合計画から参酌したものでございますが、質問・ご意見につきましては一つ一つ区切ってやっていきたいと思っております。

1つ目は大綱策定の趣旨、これについてご質問ありますでしょうか。

ありませんか。

（「なし」の声あり）

ありませんので、次に2大綱の位置付けについて質問ありませんか。

ありませんか。いいですか。

（「なし」の声あり）

ありませんので、次に3大綱の期間についてご質問ありませんか。

第4次まちづくり総合計画は10年間の計画の中で、文部科学省のほうでは令和3年度から令和7年度までの5年間ということで制定をしておりますが問題ありませんか。

何かあれば必要に応じて見直しを行うということで書いてますので、どうですか。よろしいですか。

（「はい」の声あり）

次、4基本目標についてご質問ありませんか。

この資料はいつ渡した。今日渡したの。

●説明員（総務係長）

当日配付です。

●木幡町長

それじゃまずいな。ちょっと早めに渡してある

と良かったけど、読みながら質問するというのは難しいよね。これなら質問させないことの方だね。ありませんか。なしですね。

次、5番目基本方針、一番大事なところです。

●小野教育委員

すいません。質問と言いましょうか、(2)の②長万部高校への支援で、地域や中学校、東京理科大学とありますよね、それで、もとの4の基本目標のところに戻りまして、上から4行目に高大連携となっているんですけど、下は中学校が入ってまして、ということはここも中学校を入れなくても良いのでしょうかという質問です。

●北山教育委員

長万部高校に対して支援するとともにが入っているから、そういう関連で高大連携になっているのかなと理解したんですけど。

●大山教育委員

私も北山さんのように理解しました。長万部高校に対してのつていうのが②のほうで、上のほうの大きな4のほうは、大きな流れの中での高大連携かなと理解しました。

●小野教育委員

わかりました。よろしいです。

●木幡町長

そのほかございませんか。

ちょっと、項目がいっぱいあるから。

●大山教育委員

質問ではないんですけども、前の、一番最初に長万部教育大綱のときの資料があるんですけど、それと見比べたときに、基本方針の項目の中の文言がいっぱい変わってるんですよ。これはまちづくりの中からとってきた文章の中から、こっちの文章が起きてきているということでしょうか。

●説明員（総務課長）

まちづくり計画の文言をそのままこちらのほうに載せて教育大綱とさせて頂いております。

●大山教育委員

前の古い教育大綱を持ってきていて、対比してみたらちょっと違うので。

●説明員（総務課長）

まちづくり総合計画は本年3月に、新たなものを10ヵ年で計画を策定しましたので、その内容からこちらのほうに抜粋したものとなっています。

●大山教育委員

中身についてはまだちょっと読んで頭に入らないんですけども、多分、言葉は変わってても同じようなことですよね。これは質問でなくて、そう思いますということです。

●木幡町長

第3次まちづくり総合計画の資料と第4次まち

づくり総合計画の資料が、文言が変わる。その時代の流れがあったり、それこそ少子化の流れもあって、学校運営等の流れも変わってきているもので、それで第4次まちづくり総合計画の策定段階で、文言や項目も変わって、策定会議で議論をしてまちづくり計画が承認されたということになりますので、よろしくお願いします。

次ありませんか。

●小野教育委員

今の大山さんの資料は10年前のものなんですか。

●大山教育委員

第1回のときのです。

●木幡町長

第3次まちづくり総合計画の中の文言で、10年前にできたやつです。

●小野教育委員

ということは10年前ですか。

●説明員（総務課長）

総合教育会議の1回目で策定したものです。

●大山教育委員

会議の案内の中に、今日これについて議題があったので、前はどうかだったのかなと、すいません、1回目のをちょっと見てまして。

●木幡町長

結構ですよ。いろいろ資料を見てご質問があれば。

●小野教育委員

それで、先ほどにまた戻っちゃうんですけど、町長がおっしゃった1ページ目の3のところの、まちづくりの計画は10年だけど、文科省は5年だということを、違っていいのかということもどうなのかなという質問なんです。

●木幡町長

大綱の期間の考え方というのは、次に出てくる教育を取り巻く状況の変化や施策の進展状況などを踏まえ、必要に応じて見直しを行うっていうのは、10年間は長すぎると、だから5年で区切って、その見直しをかけていかないと、世の中の変化について行けないんじゃないのっていう、これが文科省の指導なのさ。まちづくり総合計画は10年一括りで、10年計画で第3次が終わって今年の4月から第4次まちづくり総合計画、これは3月に策定、議会をとおって計画ができたので、文科省と自治体の策定内容の違いということ。

●北山教育委員

文科省自体もころころ変わるから、10年はちょっと長いですね。大臣が替わるたびにちょっとずつ変わったりしてるから。

●説明員（総務課長）

補足ですが、首町の選挙も4年ごとですので、

そこで文科省の通知では4、5年程度を想定しているという通知が出されておりますので、今回当町としては5年ということで計画させて頂きました。

●大山教育委員

5年後にまた同じようなこの会議をするということですか。

●説明員（総務課長）

今の予定では、この計画の期間が5年ですから、5年後にまたこの会議を開催して、内容が変わるところがあれば見直すということです。

●大山教育委員

第1回目の時には6年間ということで、平成32年度までということだったので、それが終わったので、今回まちづくりの第4次とあわせて、今議題に上がっているということなんですね。

●説明員（総務課長）

前回につきましては、残りが中途半端といいますか、5年にしようと思ったんですけども、町の総合計画の残りが6年間だったので、国の通知よりは若干長いんですけど6年間ということで策定させて頂きました。

●木幡町長

よろしいですか。ご理解いただけましたか。

（「はい」も声あり）

続けて質問があればお願いいたします。

ありませんか。

●北山教育委員

お伺いしたいんですけど、(2)の③東京理科大学との連携とありますよね。でも、今の状況で、どのようなって言ったらおかしいんですけど、できるのかなと。

●木幡町長

キャンパスでの学びの問題ですね。それはまだ、令和4年度には入ってこないということは確定していて、このコロナの感染症対策がどういう形で落ち着くのか、例えばワクチンが、効き目の良いワクチンができて、そして経口薬、飲み薬ができてきて、学生が安全だと思われる判断が必要になってくるので、まだ世界中では感染拡大が続いている中だから、そこで寮生活で学生を入れるということは、共同生活の中で、一番感染力の強い学校の状態なんで、それはちょっと今の段階、もう少し、令和5年度はどうするんですかっていう判断にはなってこようかなと。

ただし、Web会議室なりリモートで大学の先生、教授はこっちにいて、こっちから授業をしている教授もいるんですよ、全部が空になっているわけでないし、その先生方は新しい教員住宅に引っ越しして、新しい教員住宅で生活しながらリモー

トでやっている。だからキャンパスは開いているんですよ。閉まってはいない。

その先を見通すっていうのは、例えば留学生の問題、外国から来る留学生が、このコロナ禍の感染症対策でこれないんでないかと、そこもやっぱり全体的にどうかと、あとの所は全部寮ではないから、野田の学校も、葛飾も、神楽坂も全部キャンパス開けながら、奇数、偶数番号で学生を振り分けているんですよ。何曜日は奇数の学生、何曜日は偶数の学生、半分ずつキャンパスに入って授業をしている。それが今の、千葉の野田、東京葛飾、神楽坂の校舎の形態になっているところ。だから学生も大変だと思う。大学に入ったけども、自宅でWeb会議で、Web授業でやっている学生も中にはいるし、バラバラになってんだよね。

それをどうまとめるのか基本的にはまだ大学のほうから連絡が来ていないので、そのあたりは長万部にとって若い人が300人近く欠けているっていうことは、人口のそれこそ数字に影響してくるし、町の活性の問題、やっぱり若い人が町に出るってことは活性化も図られるんで、そのあたりがちょっと見通せないっていうことは、非常にコロナの影響がでかいっていうことで、最近感染者数がものすごく一気に減ってきているから、これが大学ではどういう風な捉え方をするのかなっていう気はしてるんだけど、それを良い方向にとったら、今の段階で行くと、急に令和5年度に学生をキャンパスに戻しますっていう話になる可能性もあるかもしれない。だけどかなり慎重にかかっていることは慎重なんだよね。そういうことで近々大学のほうから情報があれば出していきいたいと思ってますので、本当に連携推進も、いなかったら連携も推進にもならないし。

でも毛がにの養殖は継続している。先生方3人で交代でやっている。例えばタンパク質、えさ、成長の段階でどういう風にしたら自然の3倍の成長にできるかとか、えさをどの程度食べさせたら、そのえさの効率、コストはどうなのかとか、そういう研究だから、確実に生かしていくんでなくて、毛がにを殺しながら研究している。だから今、百何十匹いたのが殆ど残っていない状況になってしまっている。だから、また新たに入れてほしいっていう、試験体を入れてくださいっていうのがきてるんで、その点はきちんと研究の成果は出しているんで、今えさを食べさせてるやつでやると、1匹育てるのにえさ代が2万円かかる。そんなこともあって、極力低コストに抑えないと、それこそ販売なんておぼつかない。だから、脱皮を繰り返していった成長を重ねるのが甲殻類の生き方で、その脱皮速度を3倍に上げるったら1年に

3回脱皮しなきゃならない。だからやっぱり考えてみたら50年研究っていうのは、そのくらいかかるんだよね。だから静かに長く、息長く、我々の生きているときにはもう見られない。そういう継続もしながらやってくれてるんで、一日でも早く学生が戻って高大連携にも、中学生と高校生と大学生が連携できるような事業になっていくと長万部にも活気が戻るし、地元にいる子ども達ももっともって学力も知識も伸びるのかなと思っておりますので、期待はしてるんです。ということになりました。

他にありませんか。

静狩の貝塚っていうのは、あれは縄文の中には入らないのかい。

●近藤教育長

入ってますね。看板には書いてますから。縄文中期ってなったかな。確か。

●木幡町長

最近行ってみてるんだけど、草おがっちゃって。草おがって貝殻があるのかどうか全然わかんないような、だから一回ちょっと整備しといたほうが良いかなと思って。

●近藤教育長

6月に刈ったのかな。

●小野教育委員

1回見に行ったんですよ。視察に行ったんです。

●北山教育委員

7月ですね。

●近藤教育長

7月でしたね。そのときはなんともなかったの、やっぱりもう草おがってますよね。

●木幡町長

あれの管理っていったら本当に、草刈りだけでなくてどうやって管理していくかだよな。

●近藤教育長

そうですね。

●木幡町長

今年は高等学校も70周年記念の式典やられて、来年の2月には静狩小学校も閉校という一つの形になるんで、小中高が1校ずつしか残らなくなるっていう時代を迎えてきて、新たな教育のあり方も真剣にトライして考えなくてはいけないのかなっていう判断になってくるかなって思っているんですが。

まずそうしたら、この1号を閉じてよろしいですか。

(「はい」の声あり)

それでは、長万部町教育大綱につきましては、事務局案のとおり決定したいと思います、よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

ありがとうございます。それでは長万部町教育大綱を事務局案のとおり決定することになります。

次に、(2)その他であります、事務局から何かありますか。

（「ありません」の声あり）

委員のみなさんからは何かありませんか。ありませんか。

せっかくの機会だから少し話題でも提供できれば良いかなと思ってるんですが、なかなか総合教育会議といえども、記録にちゃんと残っていく会議なんで、余計な冗談ばかりも言ってもらえないんだけど、教育に関する事項でご意見があればお話をお伺いして反映させていくと、今日は教育委員会の会議で色々な話をしているから大丈夫だとは思っただけ。

●小野教育委員

一つ、先ほども出たんですけども、出たというか私がフリートークで、閉めてから、教育委員会会議が終わってからのフリートークで私がお話ししたんですけど、学校給食が、ここでも一回話題になって、試食に行かれたりしたんですけど、それがだいぶ、改善されたっていう言い方はあれなんでしょうけど、今は非常に良くなって、子ども達もおかわりをするくらいおいしくなって、評判が右肩上がりになっております。町民の方も結構心配されてたんでしょうけど、そういう面では給食が楽しくなっているんで、学校に行くのも、コロナだから黙食なんでしょうけど、味が良ければ黙食も耐えられるのかなと思います。

●木幡町長

コロナ禍で黙食で食べるようにってことだけ。

我々も現地、給食センターで試食したんだけど、決して悪くなかったんだよね。やっぱりそれぞれの味覚ってあるから、大人の人も塩分の強いほう、しょっぱいのが好きな人、また、塩分の薄い、甘いほうが好きな人、それぞれの普段の味覚に合う食べ物で試食するとあれだけど、やっぱりちょっと合わないとか、しょっぱすぎる、甘すぎるとか意見は出てきて当然の話なんだけど、だからどこに照準を合わせるかっていったら、子ども達に照準を当ててね、大人感覚で評価すると、給食センター行って試食会したのは間違いだなと、それはそのときに痛切に感じた。子ども達がおおいって言ってきて、配膳するときに今日は何々だって楽しみにして食べるっていうのが非常に楽しい話です。

この間も札幌でちょっと会議があったんだけど、高校で給食を配膳してるっていうのが、全道

でも数少ないんだよね。長万部が一番早かったんだわ。それにまねて、少子化になって給食センターに余裕が出てきた。だから高校生にも配膳できるよっていうのが1、2件出てきているけども、やっぱり母親の弁当を作る朝の時間滞っているのは相当な労力、そして、毎日同じおかずにするわけにいかないから、毎日新鮮な食品を買ってきてお弁当のおかずにしてるといって、あと問題は、子ども達は彩り、彩りを重視してかわいいね、きれいだねって、弁当までそういう時代になってきているから、それはやっぱり食育っていうのは一番大事な要素だなと思って、この間も会議の中でいろんな話が出たけれども、だけど高校生も高校の先生方もおいしいって言うてくれるのはすごいなと思っていて、この間もちょっと聞いてきたんだけど。

どうですかセンター長。こういう良い評判を聞いてセンターで努力して、調理の人もみんないるんだけど、最近は別に苦情が入ってきているわけではないでしょ。

●説明員（学校給食センター長）

はい、そういうことはありません。

●木幡町長

お褒めの言葉が届いても、苦情はないと思うんだけど、こういう話が出たよって言って、職員の人方にも伝えておいてください。

●説明員（学校給食センター長）

はい、わかりました。

●木幡町長

教育委員のみなさんにお褒めの言葉を頂いた、これは大事なことです。

大山さんどうですか。

●大山教育委員

とってもうれしく思います。

やっぱり食べ物というか、学校給食が一つの教材として、高校生とかも主食・主菜がそろったものが出るってということで、将来的に一人暮らしとかになっても、自分で食べ物を選ぶときに、これだけのものを揃えたいっていう気持ちになってくれば良いなっていうのが給食の目標なんで、とってもそれをおいしく食べてくれるということがすごくうれしいなと思って聞いてました。

●木幡町長

そうだね、一人暮らしね、今の若い人方は一人暮らしを好む傾向にあるっていうから、確かにコンビニエンスストアに行ったら、いろんなとりどりのおかずがあって、調理しなくてもそれ買ってたらすぐ暖めて食べれる、包丁いらないけどはさみが必要っていう世界になってきたのかなって思うんだけど。

●大山教育委員

そのコンビニを利用するにあたって、結局、基本的な知識があると好きなものだけじゃなくて、彩りでもうちょっと赤いトマトの入ったものを入れようとか、野菜が足りないとかって、自分の頭の中で食べ物を構築できるっていうんですか、そういう基礎を学校給食で作ってもらえれば、一人暮らしになっても、高齢の一人暮らしになっても、ちょっと考えて食べれば健康を維持できるのかなと思います。

●木幡町長

そうですね。我々も出張先で、今は密になって食事もできないから、どこ走るかっていったら近くのコンビニエンスストアなんだよね。コンビニ入って、今日は野菜のサラダとかって3品やそこら買ってね、ホテルの自室に入って食べる。これがこの1年半くらい続いているのさ。会議などで宿泊があればそっちのほうで、それで皆さん買うために列作って並んでるんだけど、「あれ、皆さん部屋食かい」って聞いたら、「出て食べて感染したら地元に戻れないから」って、みんなめいめいにな。

あんなにコンビニっていうのは並ぶのが難しいのかなって思って考えたこともあったけどさ、いきなり空いてるなと思っていったら「すいませんあなたの番は向こうです」って言われて後ろに回されて、えっ並んでるのここって、ちゃんと距離をとって並んで、知らなかったんで空いてると思って行ったら叱られて、そういう経験も初めてしたんだけど。

やっぱり給食の一つの力っていうのは、生涯忘れることのないような力になってくるんだなって思うから、みんなで応援して、この間も学校給食センターを見せてもらったけども、もう老朽化してきて、センター長にあれやれこれやれここ直せって、この間注文受けてきているから、けっこうこれから厳しい目で見られるんだろうなと思いながら、でもまず、給食センターのお褒めの言葉が出たっていうことは、これはセンター長、ちゃんと伝えておいてください。

●説明員（学校給食センター長）

はい、わかりました。

●木幡町長

どうでしょうか。その他ありますか。

それでは他にないので、以上で次第の3議題を終了し、これをもって議長の職を終えさせて頂きます。ありがとうございました。

●事務局（総務課長）

木幡町長ありがとうございました。

それでは以上をもちまして、令和3年第1回長万部町総合教育会議を終了いたします。皆さんお疲れ様でした。

午後3時6分閉会

閉会
